

# 平成20年度科学技術振興調整費による「重要政策課題への機動的対応の推進」プログラムにおける課題の指定について

平成20年7月31日  
総合科学技術会議

平成20年度科学技術振興調整費による「重要政策課題への機動的対応の推進」プログラムにおける調査研究として、下記の課題を指定することとする。

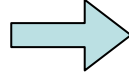
## 記

1. 課題名  
科学技術外交推進のための基礎的調査
2. 担当府省  
内閣府

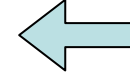
科学技術振興調整費・機動的対応を活用した科学技術外交推進  
「科学技術外交推進のための基礎的調査」

総合科学技術会議報告書(H20.5.19)  
「科学技術外交の強化に向けて」

G8科学技術  
大臣会合



科学技術外交を推進するための  
基礎的調査として4事業を実施



TICAD IV

先進国協力

1. 低炭素技術に関する諸外国の動向調査

→低炭素技術に関するG8各国等の主要な政策やプログラムの情報を集約するとともに、最新動向等の分析を行う調査を実施。

(調査内容)

- ・各国の環境エネルギー技術に関する研究開発計画及び取組状況を把握し、技術分野毎の目標、ロードマップ、予算、普及策、政策決定の背景などを比較・分析することにより、低炭素技術を開発・普及していく上での隘路や解決策について整理。
- ・以上により、低炭素技術に関する研究開発、普及拡大にあたっての国際的な連携のあり方について検討。

2. 大規模研究施設に関する諸外国の動向調査

→わが国における共同利用研究施設の国際的利用の可能性についての調査を行うとともに、G8各国等における大規模研究施設の現状を集約する調査を実施。

(調査内容)

- ・世界における大規模研究施設の共同利用に関する現状の調査・集約と同施設の将来計画の把握。特に、海外研究者への開放の実態等についての調査
- ・以上の結果を踏まえ、大規模施設を利用した研究開発の効率の推進や途上国への科学技術外交への展開の観点からのわが国の対応の選択肢を検討するとともに、G8の枠組みで開催される大規模施設WGへの対応戦略を検討する。

発展途上国

3. アフリカ諸国との協力

→TICAD IV行動計画を踏まえ、アフリカ諸国とのハイレベルな政策対話を実施。

(事業概要)

- ・本年10月8日に東京でアフリカ科学技術閣僚会合を開催し、ハイレベルな政策対話を実施する。
- ・上記会合の開催等に備え、今後のアフリカ協力のあり方の議論のため、アフリカ諸国の科学技術政策および活動の現状を調査するとともに、G8各国等のアフリカ諸国との科学技術協力の現状を調査。
- ・科学技術外交推進の観点から、諸外国・関係機関との間で、科学技術政策に関するネットワークを構築し、情報交換の拡大を図る。

4. アジアにおける頭脳循環に関する調査

→アジア頭脳循環構想の具体的なあり方について調査を実施。

(調査内容)

- ・アジアにおいて頭脳循環を促進するために必要な協力手段のあり方に関する調査を実施。具体的には、
  - ①留学生受入れ、技能研修、共同研究、資格の相互認証等の交流スキームの有用性を検証
  - ②文献調査等により、過去の事例を精査し、諸外国の研究機関等の関係者、日本で留学生を受け入れている大学等に対するアンケートを実施。
- ・上記結果を踏まえ、頭脳循環の加速的推進を図る上での問題点の把握と改善策の検討、さらに、それらに包括的に取り組む「アジア頭脳循環構想」の今後の進め方の提言や関連する情報収集等を実施。

総合科学技術会議における科学技術外交の強化に向けた政策検討に反映